



第29回ダイアログBar × Art of Hosting

Gary Reiss × Bob Stilger

～ワールドカフェ&ダイアログ：対話による学びと共創の場～



10月30日に開催されたダイアログバーxArt of Hostingでは、海外からの二人の対談を行いました。当日は台風が東京に近づいている日でしたが、40名を超える多くの人に参加してくださいました。

1人目のゲストは、今年の1月にお呼びした、The Berkana Institute 共同代表の Bob Stilger さん。10年間インド、南アフリカ、メキシコ、ジンバブエ、ブラジルなどでコミュニティの支援をする組織の支援を行ってきました。今回は、Art of Hostingという対話を通じてコミュニティを創り、再生するワークショップの実施のために来日をしています。

もう1人のゲストは Gary Reiss さん。パレスチナを主要な現場に、プロセスワークという流派のグループワークと、対話の手法「ワールドワーク」を用いて紛争解決に取り組んでいる方です。

2人には、対話、紛争解決、ソーシャルチェンジをテーマにそれぞれのストーリーと智慧を対話を通じて紡いでいただき、その後、ワールド・カフェでの参加者+ゲストの対話を行いました。



まずは、グループでの対話を通じて紛争解決を行っている、Garyのトークからダイアログバーがスタートしました。

Garyの簡単な自己紹介。これまでに関わってきた紛争でのワークの数々の紹介がありました。紛争の場という、まずお互いに冷静に話し合うことすら困難であることが予想される場面において、ワークをおこなったGaryの体験は、聞いていて思わず息を飲むような話を聞くことができました。

「紛争の中に座ると、グループが暴力的になったとき、スローダウンさせる。ただ殴り合うだけではだめで、自覚をもってゆっくり動きましょう、ということをお願いします。ゆっくりやっていった結果、抱き合う。自覚をもって火の中にはいると、下におちていくようなものがあり、結びつきが生まれる。」

Garyの話聞いた後は、Bobから自己紹介。



Bobは、これまでに行ってきたコミュニティ開発のストーリーを語ってくれました。いろいろな国で、様々な人びととワークを行ってきたことでわかってきたこと、そして今回の来日で行った対話からわかったことがある、とBobが話したことが印象的でした。

「私たちはひとつの家族だということ。

私たちがひとつの家族だということを知ることができる場をつくる必要がある。

私の仕事は、そういった場所をどうやってつくるか。

対話する場所をどうやってつくるか。」

GaryとBobは、それぞれ違った行動をとってきたわけですが、その根底にあるものは一緒なのではないか、とBobは語ります。

「私たちがひとつの家族だったらどうなのか、そのようなことを発見する場はどうやってつくるのか。」



これまで2人が続けて行ってきたことは、自分たちが家族のようなつながりをもった存在であることを意識できるような場をデザインすること。

ボブ：

『興味深いのは、私たちはそれぞれ違うけれど、ひとつになっているということをどのようにみるかです。先日の企業ワークショップでの参加者の発言をご紹介します。』

“もし参加者のみなさんを日々の利用している電車の中でみたら、自分にとって興味ないひと達に写ると思います。でも2日間一緒に過ごして、みなさんのことがよく見え、わたしもよくみてもらっている。”



私たちの持っている、人とつながりたいという感覚、お互いを先入観なしに見たいという願望がある。』

一つになっていること、同じコミュニティであることを自覚する、という話がでてきましたが、これは個人の考えや価値観などを一つに統一してしまい、多様性をつぶす、ということではない、と二人は語っています。

家族のようなコミュニティを形成しながら、お互いの違いを受け入れること。まったく違う道を歩んで来た二人から、このように同じような話がでるということは、これが紛争解決にも、社会変革にも共通していえる、重要なことなのだと言えるでしょう。

2人のトークの後は、参加者の方々からの質問もいくつか飛び出し、早速良い話合いの場が生まれていました。

トーク終了後は、ワールドカフェ。

今回のテーマは、

**『もし私たちがひとつの家族だったら、私たちの間にある違いに、どうしたら実際に取り組めるでしょうか』**





このワールドカフェも、どのテーブルも盛り上がり、盛んに意見の交換が行われていました。実践の現場を多く歩んできたゲストのトークを聞き、みなさん言いたいことがたくさんできていたのかもしれませんが。

最後に参加者のみなさんに、会を振り返って、感じた一言を言ってもらったときには、どの人も何か自分の中に得られたものがあるような表情でした。

ボブの話で印象的だった言葉があります。

「今年日本で私が感じたことのひとつ。日本は、多くの先進国が忘れていた答えを持っている。たくさんのネイティブなひと達も同じ答えを持っている。日本ではすでにそれらは忘れていたけれど、記憶はまだ残っている。それをどのようにして取り戻すか。」

日本が世界に伝えられるもの、貢献出来る可能性。それは、既にあるものを思い出すだけで良いのかもしれませんが。

## ゲストの紹介

### **Gary Reiss (ゲリー・リース) さん**

ソーシャルワーク修士、心理学博士、認定プロセスワーカー・トレーナー。中東の大規模グループでの葛藤のホットスポットのファシリテーションにも関わり、個人とコミュニティのレベルでのトラウマとワークするツールを開発、身体症状の世界との繋がりも専門に扱う。また、セックスや親密さの扱い、怒りの問題を含む家族療法、昏睡患者とそれを世話する人とのワークを展開。ポートランドプロセスワーク研究所教授。世界中でプロセスワークを教えている。

著書：「自己変容から社会変容へ（「Changing Ourselves, Changing the World」）」

### **Bob Stilger (ボブ スティルガー) さん**

The Berkana Institute 共同代表。1970年代半ばからコミュニティ開発（コミュニティの変容）のための会社を設立し、50名のスタッフとともに従事。近年は、南アフリカ、ジンバブエ、インド、ブラジル等で活躍する。CIIS（カリフォルニア統合学研究所）にて、人の変化と学習のシステムについて研究し、博士号を得る。2005年より「リーダーシップとニューサイエンス」の著者、マーガレット・ウィートリーが設立したThe Berkana Institute の共同代表を務める。また、AI、OST、Circle、World Cafe、Uプロセスを取り入れた対話を通じたコミュニティビルディングと対話を扱うファシリテーター・トレーニングのための Art of Hosting のファシリテーターを務める。

ファシリテーター

## 西村 勇也（にしむら ゆうや）

ダイアログBar 主宰／代表。大阪大学大学院にて人間科学（Human Science）の修士を取得。研修ベンチャー企業、（財）日本生産性本部メンタルヘルス研究所を経て、2008年4月より『ダイアログBar』の活動を開始。2年間で22回の「対話の場」を設け、約1000人が参加。現在は、ファシリテーター&プロセスデザイナーとして、組織変革、ESD（Education for Sustainable Development）、地域活性、ソーシャルイノベーション、デザイン、などの分野で活動。2009年12月より、The Berkana Instituteと協働し、多数のメンバーと共にArt of Hosting in Japanを始めとした国内プロジェクトを運営。対話の場づくり、変革のプロセスデザイン、コミュニティ構築に取り組む。Art of Hosting in Japana Founder、TEDxTokyo yz Co-Founder。

著書：「ワールド・カフェの準備と手順マニュアル」（[ダウンロード](#)）

ブログ：<http://positivelearning.seesaa.net/>

## Art of Hosting in Japan

2010年に、Bob Stilger（The Berkana Institute 共同代表）、西村勇也（Art of Hosting in Japan Founder）を中心に多数のメンバーによって開始された、日本における Art of Hosting を活用した社会変革の基盤を創造することを目指した取り組み。2010年5月に、日本で初めての Art of Hosting を開催。Art of Hosting を通じた、対話のファシリテーターの育成／トレーニングを始め、地域コミュニティへの取り組み、イノベーションを生み出すための組織変革の支援、などに取り組む。40-60名の流動するメンバーと共に運営されており、Art of Hosting の他にも様々なプロジェクトを企画、運営している。

<http://artofhosting-japan.org/>

### 『第2回 Art of Hosting ワークショップ

～ 対話と場を通じて変化を生み出すArtを学ぶ3日間 ～』

【日程】2010年11月19日（金）～11月21日（日）2泊3日

【会場】山梨県清里高原 KEEP協会 国際交流研修センター 【定員】45名

詳細はこちら → <http://artofhosting-japan.org/events/aoh-in-kiyosato-2011-fall/>

